

2003 年 IEEE Kansai Section

**総会資料**

2003 年 2 月 17 日

IEEE Kansai Section

## 2003 年 IEEE Kansai Section 総会

- 1 . 日時： 2003 年 2 月 17 日 ( 月 ) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分
- 2 . 場所： 中央電気倶楽部 317 号室  
530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
- 3 . 総会スケジュール
  - 1 . 支部長挨拶
  - 2 . 役員紹介
  - 3 . 2002 年活動報告および会計報告
  - 4 . 2003 年事業計画および予算案承認
  - 5 . IEEE Kansai Section Gold Award 授賞式  
<休憩>
  - 6 . IEEE Kansai Section 新 Fellow 紹介及びスピーチ
  - 7 . 閉会の挨拶

## IEEE Kansai Section GOLD Award 受賞者

( 敬称略 )

ランバツェン ゲェウテ ( 立命館大学 )  
Gaute Lambertsen

## IEEE Kansai Section 新 Fellow 氏名

( アルファベット順、敬称略 )

北山 研一 ( 大阪大学 )  
松本 紘 ( 京都大学 )  
松波 弘之 ( 京都大学 )  
西村 正 ( 三菱電機 )  
植村 俊亮 ( 奈良先端科学技術大学院大学 )

## I. 2002 年活動報告

### 1. 総会

2002 年 2 月 18 日 (月) に住友ビル 11 階住友電工 112 号会議室において、2002 年総会を実施した。参加者：30 名

### 2. 役員会

第 1 回役員会 1 月 16 日 デジタルアーク研究センター 出席者：9 名

・ Financial Report ・ 2002 年総会について

第 2 回役員会 2 月 18 日 住友ビル 出席者：11 名

・ 2002 年総会について ・ Gold Award の受賞について  
・ 各種会議への協賛について ・ IEEE Region 10 Meeting

第 3 回役員会 4 月 19 日 デジタルアーク研究センター 出席者：10 名

・ Japan Council 理事会報告 ・ Region 10 meeting 報告 ・ SAC/MDC 委員会  
・ IEEE Alexander Graham Bell Medal 受賞記念特別講演会について  
・ 2003/2004 年支部役員選出スケジュール

第 4 回役員会 7 月 1 日 中央電気倶楽部 出席者：9 名

・ 2003/2004 年支部理事候補の選出 ・ 技術講演会について  
・ 支部 Web の運営方法 ・ 会計中間報告 ・ 協賛、後援について  
・ CAS Chapter の申請

第 5 回役員会 9 月 19 日 デジタルアーク研究センター 出席者：9 名

・ Japan Council 理事会報告 ・ 2003-2004 役員候補選出 ・ GOLD 賞の推薦  
・ 各 Committee/Chapter 活動状況 ・ 会議協賛について

第 6 回役員会 11 月 12 日 デジタルアーク研究センター 出席者：8 名

・ Section Congress 報告 ・ 2003-2004 新役員選挙経過 ・ 引継ぎについて  
・ 各 Committee/Chapter 活動報告作成依頼 ・ Chapter 役員構成

第 7 回役員会 12 月 11 日 京都センチュリホテル 出席者：16 名

・ 現・次期役員紹介 ・ GOLD 賞の審査 ・ 業務引継について  
・ 2002 年活動報告 ・ 2002 年会計報告 ・ 2003 年の計画について

### 3. 支部主催講演会

2002 IEEE Alexander Graham Bell Medal 受賞を記念して特別講演会を、電子情報通信学会関西支部共催、電気学会関西支部協賛で実施した。

#### ・ IEEE Alexander Graham Bell Medal 受賞記念特別講演会

日時：2002 年 7 月 1 日 (月) 15:00 ~ 16:30

場所：中央電気倶楽部 317 会議室 (参加者 57 名)

題目：新 IT 時代における光ファイバ - 第 3 世代の光通信 -

講演者：中原 恒雄 氏 (住友電気工業 (株) 特別技術顧問)

Technical Program Committee の企画により以下の支部主催講演会を実施した。

・ 関西支部主催第 16 回技術講演会

日時：2002 年 1 月 30 日（水）13:10～15:00

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所（参加者 74 名）

題目：The early history of computer music at Bell Labs from 1957 to 1970  
Social Interactions with Information Technology.

講演者：Prof. Max Mathews（CCRMA, Stanford University）

・ 関西支部主催第 17 回技術講演会

日時：2002 年 8 月 16 日（金）13:00～14:30

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所（参加者 27 名）

題目：Strategies for Discovering Coordination Needs

講演者：Prof. Edmund H. Durfee

（Department of Electrical Engineering and Computer Science, College of Engineering, and in the School of Information, University of Michigan）

・ 関西支部主催第 18 回技術講演会

日時：2002 年 9 月 10 日（火）16:15～17:30

場所：NTT コミュニケーション科学基礎研究所（参加者 150 名）

題目：Design, compilation, and preliminary analysis of the ‘*Corpus of Spontaneous Japanese*’.

講演者：前川喜久雄氏

（独立行政法人国立国語研究所 研究開発部門 第 2 領域長）

4 . Region 10 Meeting

2002 年 4 月 5 日（金）～6 日（土）の日程でタイ・バンコック Grand Hyatt Erawan Hotel にて開催された Region 10 Meeting には、関西支部より石井 Vice Chair が出席した。支部運営に関する Tutorial など Training Session が中心であった。なお、羽根田理事が Region 10 MDC Chair として参加・主催した。

5 . Section Congress

2002 年 10 月 18 日（金）～20 日（日）の日程でワシントン DC にて開催された 2002 Section Congress には支部を代表して白川理事が参加し、羽根田理事は、Region 10 MDC Chair として参加した。Section Officers の役目が

ら、Newsletter、e-mail の効果的な使用方法にいたるまで Section 活動・運営全般に関するレクチャーが行われた。また、Region10 Meeting が、本会議の最後日の午後に開催された。例年通り Section 活動に関するトレーニングのセッションが設けられた。

## 6 . 各 Committee 活動

### a. Membership Development Committee

- (1) 昨年同様、IEEE への勧誘活動、Senior Member への upgrade の推奨活動を行った。また、会費滞納者に対する会費の納入依頼、Affiliate に対する Member への変更をそれぞれ促した。
- (2) 会員数の多い二組織（三洋電機、立命館大学）より、新たに MDC 委員を選出して頂き、Chair/Secretary を含め、15 人体制とした。
- (3) 会員獲得に向けた取り組みについて、SAC との連携を強化するため、2002 年 3 月 18 日（月）に SAC / MDC 合同委員会を開催し、現状の問題点、今後の取り組みについて議論した。12 月 17 日に第 2 回 MDC 委員会を開催した。

### b. Nominations Committee

- (1) 去年と同様に、支部役員の方々との連携により、Senior Member の拡大を中心に、学生員や正員の拡大活動を行った。特に、電子登録のお陰で学生員の登録が自動的に行われ、加速度的に学生員の拡大が図られた（例えば、阪大ランチでは 104 名）。
- (2) Fellow Nomination に関して、2002 年も昨年同様に手続きを実施した。すなわち、関西支部内の現 Fellow に対し、新 Fellow の推薦を依頼し、IEEE 関西支部から推薦者 16 名を決定した。しかしながら、そのうち 7 名が辞退されたため、2002 年は、関西支部からの Fellow 推薦者は 9 名であった。
- (3) 去年の推薦に対して本年（2002 年）1 月 1 日付けの新 Fellow は、松澤昭、塩寄忠、鷲津正夫、石田亨、の 4 氏である。

### c. Student Activities Committee

昨年に引き続き、学生会員の勧誘に努めたが、目標とした、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学での Student Branch の設立には至らなかった。2 月の総会において、京大 Student Branch 設立への貢献により、京大修士課程 2 回生の近村啓史君が Gold Award を受賞した。新設された

立命館大学、京都大学の Student Branch では、引き続き、会員増強の活動、対外的活動を開催した。その一環として、7月にシンガポールで開催された IEEE student congress 2002 に、IEEE 関西支部 Student Branch を代表して、京大の曾我祐紀君が出席し、関西支部の活動を紹介、他国の支部の学生との交流を図り、今後の活動につながる多くの知見を得ることができた。

d. Technical Program Committee

2001年と同様、技術講演会の開催を主たる活動とした。開催は年4回の計画に対し、3回(1月30日、8月16日、9月10日)の技術講演会を実施した。開催場所としては、3回ともNTTコミュニケーション科学基礎研究所で行った。講演会は、約30人~150人の聴講者があり活発な議論が行われ盛会であった。他の支部との共催の講演会の開催等が今後の課題である。

e. Awards Committee

2001年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定の作業を継続して若手会員の増強を図った。ニューズレターおよび関西支部インターネットを通じての公募を行い、当委員会による選定を行い、受賞者を支部役員会で決定した。

## 7 . Kansai Chapter 活動報告

a. EDS (Electron Devices Society) Kansai Chapter

2002年4月23日、10月15日京都において技術講演会を開催した。両セミナー共当該分野で国際的に活躍中の著名人を講師に招き関西地区はもとより全国より多数の参加者を集め、盛況のうちに終了した。関西の若手研究者の技術発表の場として電子デバイスワークショップを1月16日京都、7月11日大阪でそれぞれ開催した。このワークショップは若手の研究活動奨励を目的として新設された MFSK Award 選考会も兼ねて行われた。なおこれらの講演会、ワークショップの詳細は下記の URL に掲載されている。

<http://vega.energy.kyoto-u.ac.jp/~eds/>

また、10月京都で開催された国際シンポジウムに共催、6月、9月にそれぞれ大阪、神戸、名古屋で開催された応用物理学会シリコンテクノロジー 分科会、SISPAD2002、2002 国際固体素子・材料コンファレンスに

協賛し、多くの会員が参加した。EDS News Letter に活動成果を投稿し、1月、4月、7月、10月各号に記事掲載された。

b. SSCS (Solid State Circuits Society) Kansai Chapter

2002年5月31日に、京都において技術講演会を開催した。この講演会では、東工大の益教授、ミシガン大の Dennis Sylvester 教授を招き、60名の参加者を集め、盛況の内に終了した。なお、講演会の詳細は下記の URL に掲載している。

<http://sscs.kuee.kyoto-u.ac.jp/>

また9月3日には、Kansai Chapter の Treasurer である松澤昭氏の IEEE Fellow 就任を記念して、大阪大学にて講演会を行った。さらに、10月1日には、学振 165 委員会との共催で、チップ上のネットワークに関する国際シンポジウムを行った。11月に滋賀県守山市で行われたシステム LSI ワークショップには、SSCS Japan Chapter とともに協賛し、大学からのポスター発表の優秀者に対して IEEE SSCS Japan Chapter 奨励賞を授与した。

c. CAS (Circuits and Systems Society) Kansai Chapter

2002年7月19日に IEEE 本部の承認により、熊谷貞俊教授を Interim Chapter Chair として、Circuits and Systems Society Kansai Chapter が設立された。それに伴い、同年9月10日より10月8日まで、電子メールにより役員の信任投票を行い、新役員が選出された。

8. 協賛会議

- ・ 市民公開講座「バーチャルリアリティとコミュニケーションの未来」  
主催：電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ  
日本バーチャルリアリティ学会  
日時：2002年3月16日(土) 10:00~16:00  
場所：キャンパスプラザ京都
- ・ ICAD2002 (International Conference on Auditory Display)  
日時：2002年7月2日(火)~5日(金)  
場所：ATR
- ・ ISSS2002 (15th International Symposium on System Synthesis)  
日時：2002年10月2日(水)~4日(金)  
場所：京都ロイヤルホテル
- ・ ISESE2002 (2002 International Symposium on Empirical Software

Engineering )

日時：2002 年 10 月 3 日 ( 木 ) ~ 4 日 ( 金 )

場所：奈良県新公会堂

・計測自動制御学会関西支部シンポジウム「計測と制御の新たな展開」

主催：計測自動制御学会関西支部

日時：2002 年 10 月 25 日 ( 金 )

場所：大阪大学コンベンションセンター

## 9 . 情報の発信

### ( 1 ) 支部 Web ページ

支部の Web ページによる積極的な情報発信を継続した。Hosting Service ( 本部提供 ) によりサーバー上に関西支部の TOP ページを作成した。

<http://ewh.ieee.org/r10/kansai/> 今後はこのページを案内していく。

### ( 2 ) 電子メール・FAX・葉書の利用

Japan Council/東京支部事務局へ依頼することにより、次期支部役員の公告時に、電子メール、FAX、葉書の3段階で支部会員に広く公告するなど情報発信に努めた。講演会の案内もタイムリーに、電子メール・FAX・支部 Web を用いた。また、FAX 送信時に電子メール登録 ( <http://homepage1.nifty.com/ieeetokyo/email4.htm> ) を働きかける情報を添付した。

### ( 3 ) Newsletter

Kansai Section Gold 賞の募集をはじめ支部に関する情報を Newsletter 形式で継続して提供した。

## II. 2002 年 IEEE Kansai Section 会計報告

### 1. 収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	5,264,904	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,100,567	5/23 に換金終了 \$8,926.2 (内手数料\$7.5、入金は\$8,918.70)
・ Section Assessment (同上)	4,164,337	3/22 に換金終了 \$28,860.92 9/25 に換金終了 \$3,080.99
利息	195	普通預金利息
繰越金 (2001 年からの)	1,065,826	
<b>合計</b>	<b>6,330,925</b>	

(補足)

- ・ Rebate 内訳  $\$1,800 + \$3 \times (\text{会員数}) + \$180 \times (\text{Chapter 数})$
- ・ \$1,800 は各 Section 一律配分
- ・ 会員数のカウントには全 grade の会員が相当
- ・ Chapter 数 = 2

### 2. 支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,205,421	
・ Japan Council 拠出金	4,160,997	3/22 (378 万 7575 円) 10/3 (37 万 3422 円)
・ Chapter へ (Chapter Rebate\$180×2)	44,424	両 Chapter に\$180.00 送金
<b>会合・AWARD 費</b>	<b>685,429</b>	
・ 総会費	12,912	資料代等
・ 講演会	98,200	謝金および会場費
・ 役員会費	239,161	
・ Committee 会合費	311,656	MDC&SAC 会合および MDC 会合
・ Award 費	23,500	受賞者交通費を含む
<b>事務経費</b>	<b>191,254</b>	
・ 通信費	3,310	計画の Internet 経費は IEEE Web Hosting サービス利用で無償
・ 事務用品費	43,081	ファイルメーカを含む
・ 旅費	144,863	Section Congress 旅費: 支部支払い分 を含む
<b>雑費</b>	<b>8,750</b>	Rebate 換金手数料、Entity 間等振り 込み費用など
2003 年への繰越金	1,240,071	
<b>合計</b>	<b>6,330,925</b>	

### III 関西支部会員数

#### 1. グレード別会員数

2002.12.31 現在

グレード	Grade Code	会員数 (注1)	会員数 (注2)
Honorary Member	HM	0	0
Life Fellow	LF	19	19
Fellow	F	41	46
Life Senior Member	LS	10	10
Senior Member	SM	95	97
Pending Senior Member	PS	0	0
Life Member	LM	26	27
Member	M	1,156	1,228
Pending Member	PM	12	21
Life Associate	LA	1	1
Associate	A	222	234
Student	S	206	254
Total		1,788	1,937
Affiliate of an IEEE Society	AF	171	202

注1 本部からの Rebate 対象となる会員数

注2 一年未満の会費滞納者を含む会員数

#### 2. ソサイエティ別会員数

2002.12.31 現在

ソサイエティ	Code	会員数
Signal Processing	SP-01	158
Broadcast Technology	BT-02	15
Antennas and Propagation	AP-03	75
Circuits and Systems	CAS-04	184
Nuclear and Plasma Science	NPS-05	19
Vehicular Technology	VT-06	45
Reliability	R-07	20
Consumer Electronics	CE-08	29
Instrumentation and Measurement	IM-09	27
Aerospace and Electronic Systems	AES-10	41
Information Technology	IT-12	67
Industrial Electronics	IE-13	49
Engineering Management	EM-14	21
Electron Devices	ED-15	219
Computer	C-16	651

Microwave Theory and Techniques	MTT-17	153
Engineering in Medicine and Biology	EMB-18	61
Communications	COM-19	269
Ultrasonics, Ferroelectronics and Frequency Control	UFFC-20	30
Components, Packaging and Manufacturing Technology	CPMT-21	35
Oceanic Engineering	OE-22	11
Control Systems	CS-23	122
Robotics and Automation	RA-24	84
Education	E-25	19
Professional Communication	PC-26	5
Electromagnetic Compatibility	EMC-27	31
System, Man and Cybernetics	SMC-28	104
Geoscience and Remote Sensing	GRS-29	19
Social Implications of Technology	SIT-30	5
Power Engineering	PE-31	77
Dielectrics and Electrical Insulation	DEI-32	20
Magnetics	MAG-33	41
Industry Applications	IA-34	44
Power Electronics	PEL-35	42
Lasers and Electro-Optics	LEO-36	128
Solid-State Circuits	SSC-37	167
Total		3,087

## IV. 2003 年 IEEE Kansai Section 役員

### Section Officers

Chair:	白川 功	(大阪大学)
Vice Chair:	管村 昇	(日本電信電話)
Secretary/Treasurer:	前田 英作	(日本電信電話)

### 理事

MDC Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
NC Chair:	上林 弥彦	(京都大学)
SAC Chair:	藤原 秀雄	(奈良先端科学技術大学院大学)
TPC Chair:	間瀬 健二	(ATR メディア情報科学研究所 / 名古屋大学)
AC Chair:	山本 幹	(大阪大学)

### 理事 ( Past Officers, Past Committee Chairs )

Past Chair:	長尾 真	(京都大学)
Past Vice Chair:	石井 健一郎	(日本電信電話)
Past Secretary/Treasurer:	大山 芳史	(日本電信電話)
Past MDC Chair:	小山 正樹	(奈良先端科学技術大学院大学)
Past SAC Chair:	中村 行宏	(京都大学)
Past TPC Chair:	中津 良平	(関西学院大学)
Past AC Chair:	羽根田博正	(神戸大学)

### Committee Officers

#### a. Membership Development Committee :

Chair:	橋本 正弘	(大阪電気通信大学)
Secretary:	土居 元紀	(大阪電気通信大学)
Member:	太田 有三	(神戸大学)
	片桐 恭弘	(ATR メディア情報科学研究所)
	勝川 保	(住友電気工業)
	勝山 豊	(大阪府立大学)
	神戸 尚志	(シャープ)
	阪部 茂一	(三菱電機)
	庄中 永	(オムロン)
	瀬恒 謙太郎	(松下電器産業)
	辰巳 昭治	(大阪市立大学)
	長谷川 泰三	(関西電力)

藤田 智弘 (立命館大学)  
松平 盛夫 (三洋電機)  
真鍋 義文 (日本電信電話)  
山本 裕 (京都大学)

b. Nominations Committee :

Chair: 上林 弥彦 (京都大学)  
Member: 大西 良一 (三菱電機)  
奥村 浩士 (京都大学)  
河田 亨 (シャープ)  
櫛木 好明 (松下電器産業)  
菅原 良孝 (関西電力)  
羽根田博正 (神戸大学)  
吉田 健一 (住友電気工業)

c. Student Activities Committee :

Chair: 藤原 秀雄 (奈良先端科学技術大学院大学)  
Member: 小野寺 秀俊 (京都大学)  
小島 史男 (神戸大学)  
松本 健一 (奈良先端科学技術大学院大学)  
村田 正幸 (大阪大学)  
柳田 益造 (同志社大学)  
山内 寛紀 (立命館大学)

d. Technical Program Committee :

Chair: 間瀬 健二 (ATR メディア情報科学研究所  
/ 名古屋大学)  
Vice Chair: 北村 喜文 (大阪大学)  
Secretary: 山本 誠一 (ATR 音声言語コミュニケーション研究所)

e. Awards Committee :

Chair: 山本 幹 (大阪大学)  
Member: 朝香 卓也 (京都大学)  
井上 克巳 (神戸大学)  
黒江 康明 (京都工芸繊維大学)  
近藤 晴房 (三菱電機)  
千葉 徹 (シャープ)  
戸出 英樹 (大阪大学)  
山内 寛紀 (立命館大学)

## V . 2003 年 Kansai Chapter 役員

EDS ( Electron Devices Society ) Kansai Chapter :

Chair: 上田 大助 ( 松下電器産業 )  
Vice Chair : 谷口 研二 ( 大阪大学 )  
Secretary: 酒井 啓之 ( 松下電器産業 )  
Treasurer: 松岡 俊匡 ( 大阪大学 )

SSCS ( Solid State Circuits Society ) Kansai Chapter: :

Chair: 中屋 雅夫 ( 三菱電機 )  
Vice Chair : 山内 寛紀 ( 立命館大学 )  
Secretary: 永田 真 ( 神戸大学 )  
Treasurer: 石川 淳士 ( 三菱電機 )

CAS ( Circuits and Systems Society ) Kansai Chapter: :

Chair: 熊谷 貞俊 ( 大阪大学 )  
Vice Chair: 神戸 尚志 ( シャープ )  
Secretary: 土居 伸二 ( 大阪大学 )  
Treasurer: 山田 晃久 ( シャープ )

## VI. 2003 年 IEEE Kansai Section 事業計画

### 1 . 総会

2003 年 2 月 17 日 ( 月 ) 15:00 ~ 17:00 の予定で、2003 年定例総会を実施する。

### 2 . 支部主催講演会

Technical Program Committee の企画により、講演会を実施する。

### 3 . 役員会

第 1 回役員会 1 月 16 日 住友ビル

・ 2003 年事業計画 ・ 2003 年各 Committee の事業計画

第 2 回役員会 2 月 17 日 中央電気倶楽部

・ 2003 年総会について

2003 年中に、さらに数回の役員会を開催する予定である。

### 4 . 関西支部 Gold Award

2002 年に引き続き、Award 受賞候補者を公募し、該当者を表彰する。

## 5 . 各 Committee 活動

### a. Membership Development Committee

2002 年の活動方針を継続し、以下の取り組みを実施する。

#### (1) 会員数の増強

2002 年に設定した数値目標の達成に向けて、SAC とも協力しつつ新規会員の勧誘に努める。

#### (2) Senior Member への upgrade 推進

upgrade 候補者に対して個別に申請を促すとともに、そのサポート体制の充実等を図る。

### b. Nominations Committee

(1) 2002 年と同様に、Membership Development Committee と共同して Senior Member だけではなく、正員、学生員の拡大をも図る。

(2) Fellow 候補者をできるだけ多く Nominate する。Fellow Nomination に関して、2002 年と同一手順で実行の予定。そのために、まず、正確な Senior Member のデータを作成する。

### c. Student Activities Committee

#### (1) Student Branch の設立

昨年に引き続き、学生会員の勧誘を進め、Student Branch の設立に向け努力を継続する。既設の大阪大学、立命館大学、京都大学に加え、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学を対象に Student Branch の設立を目指す。

#### (2) 学生を対象としたイベント企画

学生を対象とした講演会、見学会、IEEE 活動説明会を兼ねたイベントを企画し、学生会員の一層の増加を図る。

(3) 関西支部配下の Student Branch の 2003 年の体制は以下の通りである。

##### 1. 大阪大学

Counselor: 尾上 孝雄  
Mentor: 岡田 圭介 (三菱電機)  
Chair: 小坂 篤史 (修士 2 回生)  
Vice-Chair: 木村 基 (修士 2 回生)  
Treasurer: 山口 悟史 (修士 1 回生)  
Secretary: 本谷 謙治 (修士 1 回生)

##### 2. 立命館大学

Counselor: 山内 寛紀  
Mentor: 村田 博幸 (松下電器産業)  
Chair: 今井 哲也 (博士 3 回生)

Vice-Chair: Oraya SAWATTANUSORN ( 修士 1 回生 )

Treasurer: 岩田 悠貴 ( 修士 1 回生 )

Secretary: 千田 康隆 ( 修士 1 回生 )

### 3. 京都大学

Counselor: 中村 行宏

Mentor: 澤田 宏 ( 日本電信電話 )

Chair: 増崎 隆彦 ( 博士 1 回生 )

Vice-Chair: 玉岡 剛 ( 博士 2 回生 )

Treasurer: 多木 良孝 ( 修士 2 回生 )

Secretary: 湯浅 隆史 ( 修士 2 回生 )

Publicity Chair: 嶋谷 篤人 ( 修士 2 回生 )

#### d. Technical Program Committee

2002 年と同様、講演会の開催を主たる活動とする。2002 年は開催回数  
が一旦落ち込んだので、2001 年程度の回数の開催を計画する。発足以来取  
り組んだ、シリーズ物の講演会の開催、大阪・京都地区での講演会の開催、  
会員からの講演会の提案などは今後も引き続き取り組んでいく。さらに、  
他の Section との共催、IEEE Distinguished Lecturer による講演会の開催等に  
取り組む。なお、添付資料 ( p.21 ) 「技術講演会企画実施要領」を示す。

#### e. Awards Committee

2002 年に引き続き「IEEE Kansai Section GOLD Award」の募集・選定作業  
を継続して若手会員の増強を図る。また、中長期的視点で学生会員や若手  
会員のさらなる増強をねらい、新企画の検討を行う。

## 6 . Kansai Chapter 活動計画

### a. EDS ( Electron Devices Society ) Kansai Chapter

今年は技術講演会の他に国際会議 ( International Meeting for Future Electron  
Devices, Kansai ) を 7 月 16 ~ 18 日、大阪大学で開催する予定である。既  
に定例となった、関西コロキアル電子デバイスワークショップは今年も 2  
回程度開催し、本 Chapter Award Committee により MFSK Award 受賞者を  
選定する予定である。本年第 1 回のワークショップは 2 月 25 日、キャン  
パスプラザ京都にて開催の予定。また、この他に DL セミナーを 2 回程度  
計画している。

b. SSCS ( Solid State Circuits Society ) Kansai Chapter

2003 年も技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、国内外より著名な VLSI 設計関連の技術者を招く予定である。

また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

a. CAS ( Circuits and Systems Society ) Kansai Chapter

2003 年は技術講演会を中心に活動し、学生や若手研究者を主な対象とした質の高い講演と技術情報の提供を行い、会員獲得につなげることを目標とする。6 月と 10 月頃に技術講演会を開催し、海外より Distinguished Lecturer もしくはそれに準ずる研究者と国内から著名な技術者を招く予定である。また、関西地区で開催される各種研究会、ワークショップにも積極的に協賛し、会員獲得につとめる計画である。

7. 協賛会議

他学会・組織と連携し、協賛会議の実施を検討する。現在以下の協賛会議の実施が決定している。

( 1 ) ISPLC2003 ( 7th International Symposium on Power-Line Communications and Its Applications )

日時：March 26<sup>th</sup> -28<sup>th</sup>, 2003

場所：ANA Hotel Kyoto ( 京都全日空ホテル )

<http://isplc2003.katayama.nuee.nagoya-u.ac.jp/>

( 2 ) ICA2003 ( Fourth International Symposium on Independent Component Analysis and Blind Signal Separation , 第 4 回独立成分分析会議 )

日時：April 1<sup>st</sup> - 4<sup>th</sup>, 2003

場所：Nara-ken New Public Hall ( 奈良県新公会堂 )

<http://ica2003.jp>

( 3 ) IWAENC2003 ( 第 8 回音響エコーとノイズ制御ワークショップ )

日時：September 9<sup>th</sup> - 11<sup>th</sup>, 2003

場所：Keihanna Plaza, Kyoto

<http://www.kecl.ntt.co.jp/icl/signal/iwaenc03/>

## VII. 2003 年 IEEE Kansai Section 予算

### 収入の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	5,193,934	
・ Section Rebate (IEEE 本部より)	1,005,106	\$8740.05 (注 1, 2, 3) 115 円/\$として計算
・ Section Assessment (同上)	4,160,000	(注 4)
・ MDC Subsidy/Grants for Student Branch	8,050	\$70.00 (注 4) (Region10 より)
・ The Nominate Senior Member Initiative	6,900	\$60.00 (注 4))
・ Wall Plaque 立替分	13,878	\$120.68 (EDS Chapter より)
繰越金	1,240,071	
合計	6,434,005	

(注 1) Rebate 内訳{ \$1,800 + \$4 × (Fellow, Senior 会員数 = 165) + \$3 × (Member, Associate, Student 会員数 = 1,623) + \$1.5 × (Affiliate 会員数 = 171) + \$180 × (Chapter 数 = 2)} × 1.10

(注 2) \$1,800 は各 Section 一律配分

(注 3) Chapter 数は設立時期の関係より EDS, SSCS のみがカウントされる

(注 4) 昨年実績から見積り

### 支出の部

(単位：円)

IEEE Entity 間勘定	4,239,098	
・ Japan Council 拠出金	4,160,000	
・ Chapter Rebate	41,400	\$180.00 × 2 (EDS, SSCS へ)
・ Wall Plaque 立替分	13,878	IEEE 本部へ
・ Student Branch 支援金	23,820	\$100.00 × 2 (注 5) (京都大学・立命館大学 Student Branch へ)
会合・AWARD 費	880,000	
・ 総会費	100,000	会場費、資料代など 謝金など 受賞者交通費を含む
・ 講演会	200,000	
・ 役員会費	250,000	
・ Committee 会合費	300,000	
・ Award 費	30,000	
事務経費	136,000	
・ 通信費	10,000	
・ 事務用品費	6,000	
・ 旅費	120,000	
雑費	10,000	為替手数料, 振り込み手数料など
2004 年への繰越	1,168,907	
合計	6,434,005	

(注 5) 入金時の換金レートで計算 (119.10 円 / \$)

## VIII. 関西支部 Bylaws

### IEEE KANSAI SECTION BYLAWS

In all instances, the Institute of Electrical and Electronics Engineers ( IEEE ) Bylaws, Constitution, Policy and Procedures manual, and the Regional Activities Board ( RAB ) Bylaws and Operations Manual will prevail when there is a conflict between these documents and Section Bylaws.

#### ARTICLE I --- Name and Territory

##### Section 1

This organization shall be known as the Kansai Section of the IEEE.

##### Section 2

The territory of the Kansai Section, as approved by RAB, includes the following:

Osaka, Kyoto, Hyogo, Nara, Shiga, and Wakayama prefectures, JAPAN

( The districts with the postal codes starting with 52 through 67 inclusive. )

#### ARTICLE II --- Officers

##### Section 1

The elected officers of the Kansai Section shall be the 4 Executive officers: Chair, Vice Chair, Secretary & Treasurer. The offices of the Secretary and Treasurer may be combined.

##### Section 2

The terms of office of the elected officers shall be for 2 years.

##### Section 3

Terms of office will begin on January 1 but, in any case, the outgoing officers will continue until their successors are duly elected and take office. The consecutive period of service shall not exceed two years.

##### Section 4

Any vacancy occurring during the year shall be filled by a majority vote of the Section Executive Committee.

#### ARTICLE III --- Standing Committee

##### Section 1

The Standing Committees of the Section will be as follows:

- Membership Development Committee
- Nominations Committee
- Student Activities Committee
- Technical Program Committee

- Awards Committee

#### Section 2

The Chair of the Standing Committees will be appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Section Chair.

#### Section 3

Each Committee Chair will appoint his/her Committee members, with the approval of the Section Executive Committee, and their terms will expire on the end-of-term date of the Committee end-of-term date of the Committee Chairs'.

#### Section 4

Duties of the Standing Committees will be as generally described in the IEEE Section Operations Guide.

### ARTICLE IV --- Management

#### Section 1

The management of the Section shall be by the Section Executive Committee which shall consist of the elected officers, the Past Section Chair and the following:

- Standing Committee Chairs
- representatives of Chapters,
- such other members appointed by the Section Executive Committee,
- and such other members appointed by the Section Chairman.

The number of voting members elected must be at least one greater than those appointed.

#### Section 2

A majority of the Section Executive Committee shall constitute a quorum, provided that delegates elected by the Section membership are at least one greater in number than delegates appointed to the Committee.

#### Section 3

A majority of the Section Executive Committee present shall be necessary in the conduct of its business.

#### Section 4

Meetings of the Section Executive Committee ordinarily will be held at least twice a year and will be called by the Section Chair or by a request of an three members of the Section Executive Committee.

#### Section 5

The fiscal year of the Section shall be the calendar year.

### ARTICLE V --- Nomination and Election of Officers

#### Section 1

A nominating Committee consisting of three members, not then officers of the Section, shall be

appointed by the Section Chair with the approval of the Section Executive Committee.

#### Section 2

The nominations of the Nominating Committee will be announced to the Section membership and, following this, a minimum of 28 days allowed for additional nominations by petition. To be valid, the petition must be signed by 2% or more voting membership.

#### Section 3

If only one nomination is made for each office, the election will be made at the Annual Meeting. If additional nominations are made, election will be by ballot, mailed to the membership with the vote counted by a Tellers Committee appointed by the Section Chair.

#### Section 4

The timetable for this procedure is as follows:

Appointment of Nominating Committee:	by August 31
Announcement of Nominations:	by September 30
Close nominations by petition:	by October 31
Hold election:	by November 30

#### Section 5

A plurality of the votes cast shall be necessary for election.

### ARTICLE VI --- Business Meeting

#### Section 1

In order to transact business at a Section meeting, at least 3 members must be present to constitute a quorum.

### ARTICLE VII --- Finances

#### Section 1

All expenditures of Section funds must be approved by Section Treasurer or Chair.

#### Section 2

Without prior authorization of the IEEE Executive Committee, Section funds can be used only for normal operations of the Section.

#### Section 3

The treasurer shall be authorized to draw funds as approved by the Section Executive Committee.

### ARTICLE VIII --- Amendments

#### Section 1

Proposals for amendments to these Bylaws may originate in the Section Executive Committee or by a petition signed by 20% or more voting members.

#### Section 2

Amendments to or revocation of these Bylaws shall be in accordance with the IEEE Bylaws, RAB Bylaws and RAB Operations Manual.

IEEE 関西支部技術講演会 企画実施要領

IEEE 関西支部  
Technical Program Committee

1. 受付け、承認の手続き

- (1) 受付け：IEEE 関西支部役員、関西支部メンバー等から下記提案項目に基づいて TPC ( Technical Program Committee ) に提案する。  
IEEE 関西支部主催 技術講演会として推薦する内容
- ・講演者氏名、所属
  - ・講演予定日時、場所
  - ・講演予定内容 ( タイトル、アブストラクト ) ( 英文可, 200-300words )
  - ・講演者略歴 ( 英文可, 100-300words )
  - ・IEEE 会員へのメリット ( 会員への講演の関連性、推薦のことば )
  - ・推薦者氏名、所属、( IEEE 関西支部役職 )
  - ・担当者氏名・連絡先 ( tel, fax, e-mail )
  - ・共催とする場合の共催組織名
- (2) 承認：
- ( i ) TPC は、講演内容の重要性、貴重性、関連性などを検討する。
  - ( ii ) IEEE 関西支部技術講演会として適当であると判断した場合、TPC 委員長が、IEEE 関西支部役員会に提案する。判断材料として、講演者の経歴、講演内容、推薦文などを用いる。
- (3) 企画：支部で OK ができれば、推薦者、講演者、会場提供者と TPC が連絡をとって講演会詳細を詰めて、案内文を作成する。
- (4) 案内：案内文を支部 General Secretary に送付して、WWW 掲載、e-mail 配布 ( 東京支部 ) を依頼する。
- (5) 参加受付け：TPC Secretary が参加申し込みを受付ける。
- (6) 会場準備：会場を提供する組織が、案内・受付けスタッフを出す。
- (7) 当日運営：IEEE 関西支部挨拶、司会者などは ( 共催先と相談して ) 柔軟に運用、なるべく TPC から司会者または挨拶者を出す。  
参加者には名簿に記入していただく。( 参加者数の把握とデータベース化 )
- (8) 費用負担：IEEE は会場費を負担しない。謝礼は IEEE 関西支部が出す ( 5 万円 ) 。ただし IEEE Fellow および IEEE Distinguished Lecturer は無料奉仕として謝礼は支払わない。
- (9) 事後報告：TPC は IEEE 関西支部総会で、年間の開催実績を報告する。

2. Technical Program Committee Member

Chair: 間瀬 健二 ( ATR メディア情報科学研究所 / 名古屋大学 mase@atr.co.jp )  
Vice Chair: 北村 喜文 ( 大阪大学 kitamura@eie.eng.osaka-u.ac.jp )  
Secretary: 山本 誠一 ( ATR 音声言語コミュニケーション研究所 seiichi.yamamoto@atr.co.jp )

**2003 年 IEEE 関西支部連絡先**

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台 2-4  
N T T コミュニケーション科学基礎研究所内  
TEL : 0774-93-5370 FAX : 0774-93-5385  
e-mail : sec.kansai@ieee.org  
Web URL : <http://ewh.ieee.org/r10/kansai/>